

子宮体がん（郭清なし）

患者さんパスシート（No.1）

氏名	
----	--

診療科名	女性診療科
入院予定期間	年 月 日
	年 月 日

月日	/
経過	入院1日目（手術前日）
達成目標	<ul style="list-style-type: none">手術、入院生活について理解しましょう。手術に必要な物品を準備しましょう。転倒予防について理解しましょう。
観察	<ul style="list-style-type: none">検温を行います。
薬	<ul style="list-style-type: none">お薬を内服されている方は入院時に8日分持参してください。医師・薬剤師が確認し、内服継続するかどうか確認します抗凝固剤・抗血小板薬は指示されたとおり中止します。
処置	<ul style="list-style-type: none">処置室で診察を行います。麻酔科受診があります。麻酔科の間診票を記入し、受診時にお持ちください。オリーブ油でお臍の掃除と、手術部位の不要な毛の処理を行います。
排泄・活動	<ul style="list-style-type: none">制限はありません。
食事	<ul style="list-style-type: none">昼食から残渣の残りにくい食事になります・夕食は流動食になることがあります。午前手術の場合：21時以降は飲食が出来ません。午後手術の場合：21時以降食事は出来ませんが、水分のみ8時まで飲む事が出来ます。（水とお茶のみとなります。）
清潔	<ul style="list-style-type: none">シャワーに入ります。爪は短く切り、ネイルをされている方は必ず外しておいてください。
説明指導	<ul style="list-style-type: none">入院生活についてのオリエンテーションを行います。主治医から手術についての説明があります。手術で必要なものを準備していただきます。 ① 浴衣 ②バスタオル ③T字帯 ④腹帯1枚 ⑤大きめのナプキン1個 ⑥弾性ストッキング※①～⑤はご自身で準備をお願いいたします。⑥は入院後看護師がサイズを図り、お渡しします。※肌が弱い方は売店にシルキーポア（7cm幅）というテープが販売していますので購入をお願いいたします。転倒防止についての説明をいたします。

このパスシートは、診療計画の概要等をお知らせするものであり、治療・検査等を決定するものではありません。

なお、病状に応じて変更する事がありますが、その時はお知らせしますのでご了承ください。

子宮体がん（郭清なし）

患者さんパスシート（No.2）

氏名	
----	--

診療科名	女性診療科
入院予定期間	年 月 日
	年 月 日

月日	/
経過	入院2日目：手術当日(手術前)
達成目標	・手術を受ける準備をしましょう。
観察	・入室前に検温を行います。
薬	・当日朝の内服は医師の指示に従ってください。 ・手術が午後になる場合、脱水を予防するため術前に点滴をする場合があります
処置	・起床後に浣腸をします。 ・弾性ストッキングを履き、浴衣に着替えてお待ちください。
排泄	・手術直前にお手洗いを済ませてください。
活動	・制限はありません。
食事	・起床後は食事、水分全て禁止となります。 (手術が午後の場合、当日朝8時まで水・お茶は飲むことができます。)
清潔	・手術前に歯磨き・洗面を行いましょ。
説明指導	・手術室に向かう時、浴衣、弾性ストッキングを着用してください。 ・時計、入れ歯、指輪、眼鏡など金属類は体から外せるものは全て外してください。 ・貴重品は金庫に入れてください。

このパスシートは、診療計画の概要等をお知らせするものであり、治療・検査等を決定するものではありません。
なお、病状に応じて変更する事がありますが、その時はお知らせしますのでご了承ください

子宮体がん（郭清なし）

患者さんパスシート（No.3）

氏名	
----	--

診療科名	女性診療科
入院予定期間	年 月 日
	年 月 日

月日	/
経過	入院2日目：手術当日(手術後)
達成目標	<ul style="list-style-type: none">痛みや吐き気など苦痛がある場合は我慢せず、医師や看護師に伝えましょう。手術当日はベッドの上で安静にしましょう。転倒・転落予防について理解しましょう。異常な出血がないか確認をします
観察	<ul style="list-style-type: none">吐き気・お腹の痛み・出血がないか確認します。体温、血圧、脈拍を測ります。お腹に入っている管の観察を行います。
薬	<ul style="list-style-type: none">手術当日は内服薬全てが中止になります。手術後、水分補給の点滴と抗生物質の点滴を行います。
処置	<ul style="list-style-type: none">手術後は酸素マスクをつけます。両足に血栓予防の機械を装着します。背中に痛み止めが入った管（硬膜外カテーテル）、傷の近くに余分な水分や血液の貯留を防ぐ管（ドレーン）が入っていることがあります。
排泄	<ul style="list-style-type: none">排便時はベッドの上で便器を使用します。尿の管が入ってきます。違和感が強いときは看護師にお伝え下さい。
活動	<ul style="list-style-type: none">手術後はベッドで戻ります。手術当日はベッド上安静となります。寝返りは看護師がお手伝いしますのでお知らせください。
食事	<ul style="list-style-type: none">手術当日は食事・水分を摂ることができません。
清潔	<ul style="list-style-type: none">看護師介助のもと、洗面を行います。
説明指導	<ul style="list-style-type: none">痛みや吐き気がある場合はお薬が使用できますので、我慢せず看護師にお知らせください。

このパスシートは、診療計画の概要等をお知らせするものであり、治療・検査等を決定するものではありません。
なお、病状に応じて変更する事がありますが、その時はお知らせしますのでご了承ください。

子宮体がん（郭清なし）

患者さんパスシート（No.4）

氏名	
----	--

診療科名	女性診療科
入院予定期間	年 月 日
	年 月 日

月日	/
経過	入院3日目（手術後1日目）
達成目標	<ul style="list-style-type: none">痛みや苦痛・体調に変化がある場合は我慢せず、医師や看護師に伝えましょう。可能であれば腸の動きを良くするために起き上がり、トイレまで歩行しましょう。転倒・転落予防について理解しましょう。
観察	<ul style="list-style-type: none">検温を行います。吐き気・お腹の痛み・出血がないか確認します。お腹に入っている管の観察を行います。
薬	<ul style="list-style-type: none">点滴を24時間かけて行います。抗生剤の点滴を朝・夕に行います。血栓予防のため、血を固まりにくくする注射を21時に行うことがあります。
検査	<ul style="list-style-type: none">起床後に採血を行います。
処置	<ul style="list-style-type: none">弾性ストッキングは退院まで着用となります。血栓予防のための足につける機械は歩けるようになったら外します。背中に痛み止めの管が入っている場合、午前中に管を抜きます。お腹に管が入っていることがあります。
排泄	<ul style="list-style-type: none">看護師とともにトイレまで歩き、歩行が可能であれば尿の管を抜きます。尿は全てカップで計測してください。（術後3日目まで）
活動	<ul style="list-style-type: none">初回の歩行は看護師と一緒に歩きます。めまいやふらつきがなければ一人で病棟内を歩行できます。
食事	<ul style="list-style-type: none">1日禁食となります。むせ込みがないか確認したあと、飲水のみ開始となります。
清潔	<ul style="list-style-type: none">蒸しタオルで体拭きを行います。点滴などの管がありますので看護師がお手伝いいたします。
説明指導	<ul style="list-style-type: none">吐き気やお腹の痛みがある時は看護師をお呼びください。血が固まりにくくなる注射をしているため、出血しやすくなっています。採血や点滴の後はしっかり押さえて止血してください。点滴や管が入っているため、転びやすくなっています。ふらつく場合は看護師が付き添いますのでお呼びください。

このパスシートは、診療計画の概要等をお知らせするものであり、治療・検査等を決定するものではありません。
なお、病状に応じて変更する事がありますが、その時はお知らせしますのでご了承ください。

子宮体がん（郭清なし）

患者さんパスシート（No.5）

氏名	
----	--

診療科名	女性診療科
入院予定期間	年 月 日
	年 月 日

月日	/
経過	入院後4日目（術後2日目）
達成目標	<ul style="list-style-type: none">痛みや苦痛・体調に変化がある場合は我慢せず、医師や看護師に伝えましょう。起き上がり、トイレまで歩行しましょう。転倒・転落予防について理解しましょう。
観察	<ul style="list-style-type: none">傷口からの出血・膣からの出血を確認します。痛みや吐き気の有無、お腹の動きを確認します。
薬	<ul style="list-style-type: none">水分補給のための点滴をします。前日に血栓予防の注射を行った方は、9時・21時に行います。
処置	<ul style="list-style-type: none">傷口に管が入っていることがあります。
排泄	<ul style="list-style-type: none">尿をカップで測定してください。（昨日歩行できなかった方は、トイレ歩行ができれば尿の管を抜きます。）
活動	<ul style="list-style-type: none">術後1日目に歩行可能となっていれば制限はありません。術後1日目に歩行できなかった方は、看護師と一緒に歩行します。
食事	<ul style="list-style-type: none">朝までは禁食ですが、昼から流動食（重湯）が開始となります。
清潔	<ul style="list-style-type: none">蒸しタオルで体拭きを行います。（点滴や管があるので看護師がお手伝いいたします。）
説明指導	<ul style="list-style-type: none">吐き気やお腹の痛みがある時は看護師をお呼びください。血が固まりにくくなる注射をしているため、出血しやすくなっています。採血や点滴の後はしっかり押さえて止血してください。点滴や管が入っているため、転びやすくなっています。ふらつく場合は看護師が付き添いますのでお呼びください。

このパスシートは、診療計画の概要等をお知らせするものであり、治療・検査等を決定するものではありません。
なお、病状に応じて変更する事がありますが、その時はお知らせしますのでご了承ください。

子宮体がん（郭清なし）

患者さんパスシート（No.6）

氏名	
----	--

診療科名	女性診療科
入院予定期間	年 月 日
	年 月 日

月日	/
経過	入院後5日目（術後3日目）
達成目標	<ul style="list-style-type: none">痛みや苦痛・出血・体調に変化がある場合は我慢せず、医師や看護師に伝えましょう。起き上がり、トイレまで歩行しましょう。転倒・転落予防について理解しましょう。
観察	<ul style="list-style-type: none">傷口からの出血・膣からの出血を確認します。痛みや吐き気の有無、お腹の動きを確認します。
薬	<ul style="list-style-type: none">血栓予防の注射を9時・21時に行います。点滴が終了した後は針を抜きます。
検査	<ul style="list-style-type: none">起床後に採血を行います。
処置	<ul style="list-style-type: none">お腹に管が入っていることがあります。術後4-6日目を目安に管を抜きます。
排泄	<ul style="list-style-type: none">尿をカップで測定してください。術後排便がない方は看護師にお知らせください。
活動	<ul style="list-style-type: none">制限はありません。
食事	<ul style="list-style-type: none">朝食から五分粥、夕食から全粥になります。
清潔	<ul style="list-style-type: none">蒸しタオルで体拭きを行います。お腹の管が抜けた方はシャワー浴が可能となります。
説明指導	<ul style="list-style-type: none">吐き気やお腹の痛みがある時は薬を使用できますので、看護師をお呼びください。血が固まりにくくなる注射をしているため、出血しやすくなっています。採血や点滴の後はしっかり押さえて止血してください。転ばないように注意して歩きましょう。

このパスシートは、診療計画の概要等をお知らせするものであり、治療・検査等を決定するものではありません。
なお、病状に応じて変更する事がありますが、その時はお知らせしますのでご了承ください

子宮体がん（郭清なし）

患者パスシート（No.7）

氏名	
----	--

診療科名	女性診療科
入院予定期間	年 月 日
	年 月 日

月日	/
経過	入院後 6～8 日目（術後 4 日目～退院日）
達成目標	<ul style="list-style-type: none">痛みや苦痛・体調に変化がある場合は我慢せず、医師や看護師に伝えましょう。積極的に院内を歩行しましょう。転倒・転落予防について理解しましょう。退院後の生活上の注意事項について理解しましょう。
観察	<ul style="list-style-type: none">傷口からの出血・膣からの出血を確認します。痛み・吐き気の有無、お腹の動きを確認します。
薬	<ul style="list-style-type: none">血栓予防の注射を、9時・21時に行います。（退院日の朝9時で終了となります。）
処置	<ul style="list-style-type: none">お腹に管が入っている場合、手術後4日から6日目頃に抜きます。退院診察があります。
排泄	<ul style="list-style-type: none">尿カップでの尿量測定は終了となりますが、尿や便の回数は引き続きお聞きします。術後排便のない方は看護師へお知らせください。
活動	<ul style="list-style-type: none">制限はありません。
食事	<ul style="list-style-type: none">術後4日目の昼から常食の食事になります。
清潔	<ul style="list-style-type: none">管が抜けている場合はシャワー浴となります。管が入っている場合は蒸しタオルで体を拭きます。
説明指導	<ul style="list-style-type: none">吐気やお腹の痛みがある時は看護師をお呼びください。血が固まりにくくなる注射をしているため出血しやすくなります。採血や点滴の後はしっかり押さえて止血してください。転ばないように、注意して歩きましょう。別紙「退院後の生活について」を使用して退院後の説明をします。保険などの書類は退院日に本館1階中央受付Aに提出して下さい。（ただし、退院日が日曜日・祝日の場合は前日に提出して下さい。）

このパスシートは、診療計画の概要等をお知らせするものであり、治療・検査等を決定するものではありません。
なお、病状に応じて変更する事がありますが、その時はお知らせしますのでご了承ください。

退院後の生活について

- ①退院後は家庭内での生活は普段通りに送ることができますが、次回の外来までは自転車、運動などでかんだり、腹圧のかかる動作は控えましょう。
- ②食事は特に制限はありませんが、暴飲暴食は避け、規則正しくバランスのとれた食事を心がけましょう。
- ③傷に貼っているテープは、次第に剥がれてくるので無理に剥がさないようにしましょう。シャワー浴の時は傷を強くこすらずに、泡を立ててやさしくなでるように洗いましょう。
※退院後は次回外来までは、感染予防のためシャワー浴のみになります。
外来時の状態を診て、医師より湯船に入っていいかの許可がでます。
- ④手術後は腸の動きが鈍くなり便秘になりやすいため、適度な運動を行い繊維質の物を多く取るようにしましょう。
- ⑤性生活は次回外来までは禁止です。受診時に医師に確認しましょう。
- ⑥内服薬は入院中と同じように内服してください。退院後に始まる薬がある場合は退院時にお伝えします。

* 緊急時の対応 *

- 38度以上の熱が出る
- 強い腹痛がある
- お腹が張って吐き気が強い
- 通常の生理以上の出血がつづく

上記のような症状がある時は早めに受診してください。
不明な点等がありましたら、医師・看護師にご相談ください。

連絡先

日本医科大学付属病院（代表） 03-3822-2131
女性診療科外来（内線） 3311、3312